

~KENSYU~

谷地南部小学校
ICT 研修だより
2023. 12. 6
No.12 文責 伊藤

ロイロノートを使って

先月末、自身の研修も兼ねてタブレットでロイロノートを使って実験をしてみました。今回使ったのは、「テスト」機能です。タブレットが配備された年に行われた町教研の授業改善部会の時に、谷地西部小学校で研修したのですが、その後なかなか校内での授業やその他の活動で使わずに時間が過ぎてしまっていました。

どのように使っているかは実際に4年生のロイロノートの部屋を見ていただくのが一番だとは思いますが、一応こちらでも紹介します。

まずは、該当する教科のページを開き、左側にある「テスト」を選択します。「テスト・アンケート・出欠」の3つの項目が出てきましたね。次に、その中からテストを選ぶと、画面にテストカードが飛び出てきます。あとは、編集からテストを作っていくだけ。配点も決められるので、場合によっては評価問題として知識を問うこともできるかもしれませんね！（私は、まだお遊び程度の「先生クイズ」や簡単な「算数クイズ」などしかしていませんが...）

実施の仕方は複数通りあるようです。

一つ目は、ロイロ上でカードを子ども達に送って個別に取り組みさせる方法。イメージとしては、授業中に課題が早く終わった児童がプラスアルファで個別に取り組む感じでしょうか。やり方は、作成したカードを配付し、各児童がカードをタップして「解答」から取り組み始めます。自分のタイミングで取り組みますし、再挑戦もできるようなので e ライブラリと同じように使うことができます。（問題を作る必要がある分、e ライブラリの方が簡単ですが、自由度は高いです。）

二つ目は、全員一斉に取り組みさせる方法です。配付するところまでは一つ目と同じですが、児童は「解答」を押さずに待ちます。全員がカードの準備ができたら、教師用端末から「全員で解答」を選択します。すると、児童用端末の画面が一斉にクイズ画面に変わり、制限時間等に合わせて自動で進んでいきます。問題ごとに正解者や順位なども表示されるので、子ども達はより速く正解を出そうと燃えます！大人数が一喜一憂する姿が見られて、楽しいです。笑

三つ目は、提出箱を経由する方法です。作成したカードを提出箱に入れておけば、子ども達は家庭でも取り組みます。

（実は、最初のやり方も家庭でもできるんですが...）

アンケートも同様の使い方で行えるみたいです。4年生は今回のリクエストソングを決める時にアンケート機能を使って代表児童がアンケートを取って集計していました。

